

平成18年度作井技術委員会運営幹事会(第2回)議事録	
開催日時	2006年8月10日(木) 16時00分～18時00分
開催場所	石油資源開発(株)本社 24F 2403会議室
出席者	吉田恒夫委員長、今里昌幸(石油資源開発)、池田正市(帝国石油)、 富岡正(帝国石油)、長縄成実(東京大学)、古谷昭人(日本海洋掘削) 以上 運営幹事  分科会座長: 田崎誠司(帝国石油) 前事務局: 玉川孝之(帝国石油) 事務局: 筑井秀昌(石油資源開発) 順不同敬称略
はじめに	吉田作井技術委員長 就任挨拶
議題1	平成18年度作井技術委員会要綱(案) 添付資料1 基本的に平成17年度要綱を踏襲している。若干の変更箇所の説明後、承認された。主な変更点は以下の通り。 ・作井マニュアル分科会は大水深掘削技術分科会に一時的に統合されているので記載しない。(ただし、将来、必要となれば再度独立させる)。
議題2	各分科会座長報告 大水深掘削技術分科会 添付資料2 ・活動方針案に対し、「分科会の開催頻度が年3回では少ないのでは?過去の分科会活動ではもっと頻繁に開催していた。」、「Deepwater Well Control GuidelinesのCD版は、将来の所有権の懸念があるため、作井委員会で購入するのではなく、各社で購入するよう働きかけられたい。」、「大きな労力を省くためにWebsiteを活用するという方針は理解するが、印刷物の発刊も検討してもらいたい。」等の意見が出された。 ホームページ分科会(口頭による報告) ・JAPTホームページ内の「平成18年度作井技術委員会名簿」の更新を行った。
議題3	平成18年度春季講演会を振り返って シンポジウム原稿受領状況について 添付資料3 ・査読終了後、9月前半には大和印刷に原稿を送付できるように、講演者に再依頼する。 ・シンポジウムの英文タイトルを「Current status of advanced technologies for drilling operation」とすることで承認された。 講演会全体を通して ・会議の進行において、特に大きな問題はなかった。 ・会場の下見はやはり非常に有効である(図面だけでは分かりにくい)。

<p>議題 4</p>	<p>PC レンタルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今春の講演会においても「プロジェクターと同様に JAPT にて一括で準備すべきではないか？」と提案したが(前幹事会社)、「各技術委員会で準備されたい。」との返答があり、結局委員会活動費で準備した。これに対し、「他委員会の状況にもよるが、基本的に今後も委員会活動費でレンタルすればよいのではないか？」との意見が出された。</li> </ul> <p>第 1 回作井技術委員会について</p> <p>日時：平成 18 年 9 月 15 日(金) 15:00～</p> <p>場所：石油資源開発(株)本社 24F 2405 会議室</p> <p>議事案： 1. 委員の交代 <span style="float: right;">添付資料 4(省略)</span></p> <p style="padding-left: 2em;">2. 平成 18 年度作井技術委員会要綱の承認</p> <p style="padding-left: 2em;">3. 分科会活動報告</p> <p style="padding-left: 2em;">4. 8/29 理事会報告</p> <p style="padding-left: 2em;">5. その他</p> <p style="padding-left: 2em;">6. 特別講演 <span style="float: right;">添付資料 5</span></p> <p>開催日時について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の日時にて決定した。今月末までに各委員に連絡する。</li> </ul> <p>特別講演について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付資料 5 を講演候補と考えていたが、「“米国メキシコ湾ハリケーンによる海洋構造物への影響”といった類の講演はどうか？」との提案がなされ、これを第一候補とすることに決定した。第二及び第三候補については幹事会社に一任された。</li> </ul>
<p>議題 5</p>	<p>6/20 理事会報告(吉田委員長)</p> <p>会員異動について</p> <p>平成 18 年度秋季講演会及び平成 19 年度春季講演会について</p> <p>JAPT の累計剰余金の使途について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学生に対する石油開発の宣伝に利用してはどうか？」との意見が出された。</li> </ul>
<p>議題 6</p>	<p>その他、作井技術委員会の活動提案及び事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生に対するアプローチについて情報交換を行うなど、生産技術委員会との連携を模索したい。</li> <li>・時間に余裕があれば、運営幹事会にて各社及び各大学で行っている研究課題等(題目だけでも)を発表する場を設けたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>

添付資料 1：平成 18 年度作井技術委員会要綱(案)

2：大水深掘削技術分科会活動状況報告

- 3: H18 年度春季講演会作井部門シンポジウム原稿受領状況
- 4: 平成 18 年度作井技術委員会員名簿(省略)
- 5: 9/15 第 1 回作井技術委員会 特別講演候補